

# JSA 神奈川支部通信

No.2 February 2026 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：https://jsa-kanagawa.jp、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com

年会費 10,800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちよ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

## この号の目次

- ◆ 「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどいのお知らせ 県民のつどい実行委員会
- ◆ JSA 創立 60 周年記念事業のお知らせ 日本科学者会議全国事務局
- ◆ 幅広い参加で「JSA かながわ秋の研究交流会」を開催しました 支部事務局長 飯岡ひろし
- ◆ 市民の市長をつくる会第 48 回総会の報告 後藤仁敏
- ◆ 衆議院議員・早稲田ゆきさんと 4 区市民連合の意見交換会の報告 後藤仁敏
- ◆ クマは秋田にクマなくいる 石原 元

## 「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどいのお知らせ

2.11 県民のつどい実行委員会

「建国記念の日」の元となる「紀元節」復活に奔走した国会議員であった瀨瀨彌三をご存知ですか。瀨瀨は、1928 年の共産党弾圧事件である三・一五事件を指揮した特高課長だった人物です。一時は公職追放されましたが解除されてから国会議員となり、自由・平等・平和をめざす戦後の動きを警戒し、精神・思想の権力による支配と統制を目的として「紀元節」復活を主導しました。

戦争の危機迫る今日、再び私たちの精神と思想を支配しようとする試みが確実に進められています。「未来に過去がやって来る」(辺見 庸)時代を迎えようとしているのです。そこで今回は、『戦争と弾圧 三・一五事件と特高課長・瀨瀨彌三の軌跡』(新日本出版社)の著者で、歴史政治学者の瀨瀨 厚さんにお話いただきます。排外主義や安全保障の問題とも関連づけながら、精神・思想をいかに守っていくのか、それが護憲運動の大切な課題である点を強調していきます。

JSA 神奈川支部も構成団体に参加する実行委員会の主催です。多くの会員の皆様の参加を呼びかけます。

**「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどい  
精神・思想の支配を意図する「建国記念の日」～その制定に奔走した  
瀨瀨彌三の軌跡を中心に～**

講師：瀨瀨 厚さん (山口大学名誉教授・歴史政治学)

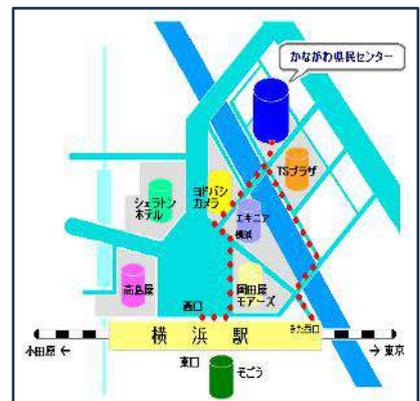
日時：2026 年 2 月 11 日 (水・休) 13:30 開会 受付 12:30～

12 時 45 分頃から上映あり オンライン配信はありません。

会場：かながわ県民センター 2 階ホール (横浜駅西口徒歩 5 分)

資料代：500 円 (高校生以下無料) 事前申し込み不要

講師プロフィール：瀨瀨 厚 (こうけつ・あつし) さん



1951年岐阜県生まれ。1973年明治大学文学部卒業。1983年一橋大学大学院博士課程単位取得退学（政治学博士）、1991年山口大学助教授、1996年同大学教授、2018年明治大学教授、現在明治大学国際武器移転史研究所客員研究員。主著『近代日本政軍関係の研究』（岩波書店）、『文民統制』（同）、『侵略戦争』（筑摩書房新書）、『暴走する自衛隊』（同）、『日本海軍の終戦工作』（中央公論社・新書）、『日本降伏』（日本評論社）、『監視社会の未来』（小学館）、『戦争と弾圧 三・一五事件と特高課長・額満彌三の軌跡』（新日本出版社）、『非武装中立のリアリズム—非武装中立論は空論か？』（緑風出版）。

主催：2.11 神奈川県民のつどい実行委員会

連絡先：神奈川県民のつどい実行委員会（担当・住谷） ☎045-212-5855 当日限り（事務局）080-6709-4147

2.11 神奈川県民の集い実行委員会構成団体：日本基督教団神奈川教区靖国天皇制問題委員会、日本キリスト教会横浜桐畑教会靖国神社問題委員、在日大韓基督教教会横浜教会、神奈川県教育運動連絡センター、神奈川私学教職員組合連合、横浜市立高等学校教職員組合、神奈川県立障害児学校教職員組合、神奈川県教職員連絡協議会、神奈川高校教職員連絡会、横浜教職員の会、川崎市教職員連絡会、日本科学者会議神奈川支部、神奈川労連、神奈川自治労連、自由法曹団神奈川支部、青法協神奈川支部、神奈川県歴史教育者協議会、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟神奈川県本部、アジア・フォーラム横浜、県民連絡会、教科書・市民フォーラム、神奈川平和遺族会

## JSA 創立 60 周年記念事業のお知らせ

日本科学者会議全国事務局

### JSA60 周年記念シンポジウム

日時：2026年2月22日（日）13:30～17:00

場所：中央大学茗荷谷キャンパス B1C16 教室 東京都文京区大塚 1-4-1（丸ノ内線茗荷谷駅徒歩1分）

開場 13時、シンポジウム開催 13時30分～

シンポジウム テーマ「避戦と人権安全保障—戦争を回避するための方策を問う」

基調講演：1. 山極寿一（総合地球環境学研究所長、前京都大学総長）「暴力の由来とその解決策について」、2. 加藤陽子（東京大学教授）「近代日本の歩みの中に戦争を位置づける」、3. 志田陽子（武蔵野美術大学教授）「『安全保障』の氾濫と人間の生存保障—日本の地経学的課題と平和的生存」

パネルディスカッション（フロアからの質問や意見をいただき内容を深めます）

参加費：無料 参加申し込み：対面でご参加の方は申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。オンラインでご参加の方、<https://jsa.gr.jp/d/jsa60>にて申込みを受付けています。

JSA60 周年記念祝賀会 2026年2月22日（日）18:00～20:00

会場：茗溪会館 4階新泉・筑波（東京メトロ丸の内線茗荷谷駅出口2 徒歩1分）

60周年  
創立60周年記念シンポジウム

# 未来世代に何を残していくのか

日本科学者会議  
創立60周年記念シンポジウム  
(ハイブリッド開催)

テーマ：避戦と人間の安全保障  
—戦争を回避するための方策を問う—

日時：2026年2月22日（日）13:30-17:00  
場所：中央大学茗荷谷キャンパス B1C16 教室  
(東京メトロ茗荷谷駅 [出口2] 徒歩1分)

講師と講演タイトル：  
山極寿一  
「暴力の由来とその解決策について」  
加藤陽子  
「近代日本の歩みの中に戦争を位置づける」  
志田陽子  
「『安全保障』の氾濫と人間の生存保障—日本の地経学的課題と平和的生存」

参加費：無料

申し込み方法  
対面参加の場合、事前申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。  
オンライン参加の場合、事前申し込み願（2月20日までにお申し込みください）  
申し込みフォーム：  
<https://forms.gle/bR6VtbehMj6bSqP8>

日本科学者会議 <https://jsa.gr.jp/>  
JSAへの入会や「日本の科学者」定期購読の申し込みは、お近くの会員カホムページ <https://jsa.gr.jp/> にもご覧ください。

参加費：1万円 定員：70名 参加申込み受付中 下記のサイトへ

JSA 創立 60 周年を記念して、記念シンポジウム終了後にささやかならが祝賀会を開催します。会場の都合上、定員 70 名とさせていただきます。参加申込みは次のサイトにて受付します。先着順とさせていただきます。多くの方のご参加をお待ちしています。 [https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf1SEbfa\\_LRv\\_wQ02Blyq4PVsalGu8t0sSfWRGwS\\_3sBkiJPQ/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf1SEbfa_LRv_wQ02Blyq4PVsalGu8t0sSfWRGwS_3sBkiJPQ/viewform)

**記念 USB メモリ**：JSA 創立 60 周年を記念して、創立号から 2026 年 2 月号までの『日本の科学者』の PDF データを収録した記念 USB メモリ(カード型, USBType-A および Type-C 規格対応)を作成します。事前申し込みを受け付け中です。2026 年 2 月 22 日のシンポジウムの日に完成予定です。

申込み締め切り：2026 年 2 月 21 日(数量限定のため、売り切れの場合はご容赦ください)

価格(JSA 会員価格)：4000 円プラス送料 申込みは以下の Google フォームから、もしくはメール(mail@jsa.gr.jp 宛)でご連絡ください。 [https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc\\_5k9cFPWU\\_cSekGtBjEMP\\_P5RG\\_RYPzkQkcjW0xdRNr4HdQ/formResponse](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc_5k9cFPWU_cSekGtBjEMP_P5RG_RYPzkQkcjW0xdRNr4HdQ/formResponse)

**その他の記念事業**(企画中のものを含む)：記念ポスターの作成(前頁)、事務所保管中のこれまでのさまざまな資料を PDF にして会員に公開。

**各支部でも 60 周年事業を!**：支部の催しにも「JSA60 周年記念」を冠して、JSA の歴史の一步としましょう。支部主催のイベントには「日本科学者会議 60 周年記念」の冠をかぶせましょう。イベントの開催・実施報告を、ぜひ事務局にお寄せください。支部の歴史を振り返る機会に 支部事務局に歴史的資料が残っていませんか。創立時の資料などがあれば、ぜひ全国事務局にお知らせください。ウェブサイトの記念コーナーに掲載させていただきます。

**寄付のお願い**：JSA60 周年記念行事シンポジウム・祝賀会開催、およびその他の記念行事実施のための寄付金を募ります。余剰が出た場合は JSA に寄付します。下記の方法により寄付をお願いします。

- 1) クレジットカード・Apple Pay・Google Pay 払い(リンク)
- 2) クレジットカード・Apple Pay・Google Pay 払い(右の QR コード)
- 3) ゆうちょ振替口座で入金 00180-8-86906 加入者名：日本科学者会議 通信欄に「JSA60」と書いてくださるとありがたいです。



## 幅広い参加で「JSA かながわ秋の研究交流会」を開催しました

支部事務局長 飯岡ひろし

2025 年 10 月 25 日(土)、13 時から 2 回目になる「JSA かながわ秋の研究交流会」が開催されました。

2024 年度の支部大会の方針で秋に環境問題をおもにして、いままでの会員の研究発表会から、広く市民に呼びかけて研究会を開くことを決めて、2024 年 10 月 8 日に初回は山崎正勝会員(東京工業大学名誉教授)をむかえての記念公園『原爆の父』オープンハイマーその”栄光と没落”から考える」、さらに、「有機フッ素化合物」惣田晃夫、「気候変動と海洋環境」中野 広、「環境教育と地域」鈴木秀顕、「『図説 歯からみた生物の進化』苦労ばなし」後藤



図 1 JSA かながわ秋の研究交流会のチラシ



図2 講演する石原元会員



図3 講演する山本大貴さん

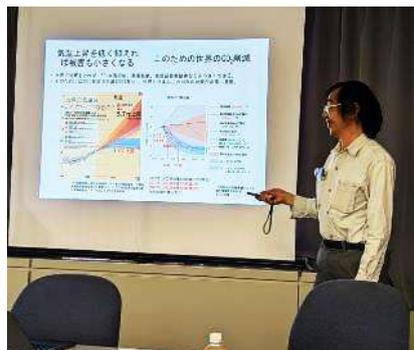


図4 話題提供する歌川学会員

仁敏の会員が話題提供を行いました。県内はもとより関東から約30人が参加しました。

2025年の研究交流会は「深刻になる異常気象―気候危機は打開できるのか」をテーマに記念講演を2題、「日本における環境評価法の歴史」石原元会員（株）W&I アソシエーツ）と、「気候危機を止めるための視点と行動」山本大貴（record1.5）、話題提供は「再生エネルギー脱炭素は可能なのか」歌川学、「横須賀石炭火力発電所の建設反対とその後」鈴木陸郎、「神奈川地学ハイキング70回の歩み」後藤仁敏、「繰り返される水道料金の値上げ―生存権は保証されるか」飯岡ひろしの4題でした。

冒頭の後藤代表幹事から、市民を対象に研究会を開催することになったいきさつと、日本科学者会議の目的と活動を知っていただくためにも、このような機会をつくっていききたいと挨拶しました。

石原さん（図2）からは自己紹介を略歴で紹介され、魚類、なかでもエイ類の専門家として世界的に自然保護、生態系の保存に関わられたことから、再生エネルギーとくに海域への風力発電、環境評価を仕事としてきたこと、とくに日本の公害の歴史と環境影響評価法の問題点について話しました。「太平洋戦争の戦争責任をだれも負わなかったように、日本は企業経営者への罰則はゆるく、本来は刑事罰をうけるべき」、また日本の環境影響評価について①事業実施の可否を判断する基準がない②事業開始後に実施前の環境と比較する義務がない③原子力発電は対象外④調査項目は自然環境に特化して社会と事故予測に関する調査がない。とくに洋上風力は漁業者との調整が難航するのは、社会環境についての調査がないことにあると指摘しました。日本の環境関連法には環境権の概念が欠落し、人権、生存権と並ぶ権利であって、日本発祥の権利であると結びました。

山本さん（図3）からは、気候危機に関心をもったのは高校生のころで、「未来のための金曜日」として学校ストライキをしたグレタ・トゥーンベリさんらの活動に連帯して、2020年に高校で学校ストライキをしたという話から始められました。立ち上げたrecord1.5というプロジェクトは気候危機という現実をリアルに伝えるため映像化を追求したもので、エジプトのシャルム・エル・シェイクで催されたCOP27（気候変動枠組条約第27回締約国会議）の模様を山本さんらが丁寧におったものです。さらに、日本の気候危機への政策にどのような問題があるか図をしめしながら説明されました。気候変動問題は先進国に生きるものとして、加害、被害と単純ではなく複雑さを理解すること、若者は未来に生きるという点で被害者といえるが、社会的格差などから、現代に生きる子供、高齢者など弱者への負担が大きく、人権問題としてとらえることが大切と強調しました。

筆者はこの「COP27 ドキュメンタリー 気候危機が叫ぶ」をみる機会がありましたが、環境NGOの参加がいかに難しいか、環境大臣小泉進次郎にはインタビューできなかつたことと日本の官僚が通り一遍の態度、日本のパビリオンが企業の展示会場のようなものであったことなど、映像でこそそのものがありました。record 1.5のホームページ <https://www.youtube.com/channel/UCb910SbPtCzHNZakub3Fuog> から見ることができます。

話題提供では、歌川さん（図4）はエネルギーを海外に依存する日本では、円安による物価高が進行しているが、再生エネルギーの拡大が自給率の向上に貢献すること、とくに太陽光発電の可能性を具体的な数字をもとに話しました。



図5 話題提供する鈴木陸郎会員

また、鈴木さん（図5）は、横須賀火力発電所の訴訟の経過と今後の取り組みについて話しました。この裁判は、2019年5月に東京電力の子会社が計画した横須賀火力発電所の建設中止を求めておこしたものです。裁判は、2024年10月23日に最高裁において敗訴しましたが、火力発電からの脱却と再生エネルギー100%



図6 エネルギー問題を考える会

の社会へ、025年2月に「エネルギー問題を考える横須賀の会」（図6）と名称を変更しました。会では202年2月に学習会を開催します。後藤さんと飯岡の発表は次回以降に、掲載する予定です。

当日はインターネット配信をふくめ、幅広く会員できない人もふくめて20人が参加しました。チラシの配布はJSA東京支部、神奈川自治体問題研究所、かながわ総研にご協力をいただきました。また、新かながわに掲載していただきました。なお、配信は音声に不具合がありましたこととお詫びします。

## 市民の市長をつくる会第48回総会の報告

後藤仁敏

2025年12月12日の夜、市民の市長をつくる会が第48回総会を開催し、34人が参加しました。

総会はず、筆頭代表委員の私が「ノースドック米軍配備反対連絡会」が11月11日に基地対策課に市民の安全と早期返還を求めたら、山中市長は11月27日に防衛省に行き、小泉進次郎大臣に市内米軍基地の早期返還を要望した。今後も、市長に市民要求の実現を求めよう」と挨拶しました（図1、詳細は後述）。



図1 開会挨拶する私

続いて、菅野隆雄事務局長が、議案書と今年の市長選の経過と結果について説明・提案しました（図2）。市民要求を実現するためにも、26年から29年までの新中期計画へのパブリックコメント（来年1月5日から募集）に多くの意見を提出しようと呼びかけました。続いて、決算報告、予算案の提案がありました。



図2 議案書の提案をする菅野隆雄氏

討論では、白井まさ子市議が、子どもの医療費の18歳までの実施を6月からでなく4月からと求めたことなどを報告しました。みわ智恵美市議は、市会定例会での一般質問で、学校給食の無償化は全額国費でと求めたところ、市長も「全額国費負担を強く要望していく」と答えたと報告しました。山下ふ頭の再開発についての未来検討会の紹介、小児医療費や中学校給食についての要望、敬老パ

スや補聴器助成は評価できるが都市計画への市民参加には問題があるなどの意見も出されました。

菅野事務局長のまとめの後、神田雄一事務局次長から役員名簿の提案があり、議案・決算・予算と合わせて、大きな拍手で承認されました。

最後に、矢後保次代表委員が、「横浜市政を発展させるうえで、市民の市長をつくる会の役割は大きい。山中市政を市民よりにするために、この会とその構成団体が頑張ることが大切だ」と閉会挨拶しました。

私の開会挨拶は以下のとおりです。

**市民の市長をつくる会 48 回総会代表委員挨拶** 2025 年 12 月 12 日 後藤仁敏

皆さん、こんばんは。今日は、寒いなか、市民の市長をつくる会の 48 回総会にご参加いただき、ありがとうございます。

私たちは 2021 年 8 月の市長選でカジノ誘致反対の市民運動を受け継ぎ、住民投票を求める 19 万余の署名が市議会で否決された怒りをもとに、市民と野党の共闘を実現し、カジノ反対の山中市長を当選させることができました。私たちは 1978 年以来多くの市長選を闘ってきましたが、応援した候補が当選したのは初めてのことでした。

山中市長はカジノ誘致は声高らかに撤回しましたが、自民党・公明党が圧倒的多数を占める市議会のもと、菅義偉元首相や自民党市議と深い関係をもつ平原副市長が留任し続け、山中市長を自らの陣営に引きずり込もうとしています。この間、山中市長をはさんで私たち市民と菅・自民党市議たちとの、綱引きが続いてきました。

今年の市長選では、自民党市議だった高橋徳美氏が立候補しましたが、自民党は応援せず、公募で募った福山敦士氏も山中に勝てないと判断して支援せず、結局、立民党、公明党と一緒に山中氏を応援しました。この間、私たちは自民党市議団の節操のなさ、当選するためには何でもありということに何度も驚かせられました。

一度目は、前回 2021 年の市長選で小此木八郎氏がカジノ撤回を掲げたこと、カジノを無理強いしてきた菅氏が押す小此木氏が市長選で当選したいがためにカジノ誘致撤回を掲げたのでした。さすがに市民は騙されませんでした。

二度目は、2023 年 4 月の市議選を前に、自民党市議団がこれまで「お母さんの愛情弁当でないため、給食などんでもない」と言ってきたのが、突然に「美味しく温かい給食」に変わったことでした。「いい加減んにしろ、どの口空けて言っただ」と思いましたが、そのために市議選で自民党は議席を減らしてませんでした。

そして、今年の市長選、あれほど山中を個人攻撃してきた自民党が勝てそうな候補を見つけられなかったために、山中を応援するとは、これも許しがたいことと感じました。とくに菅義偉氏にとっては山中は自分を総裁選から引きずり下ろした宿敵だったと思います。でも、彼らは選挙に勝つこと、そのためには何でもやるという、この点では一貫しているのだと思います。選挙に負けることが多い私たちも、その点は学ぶべきではないかとも感じています。

逆に、前回あれほど応援した共産党は自主投票となり、市民の市長をつくる会でも意見がまとまらずに、共同の枠組みをつくることができなかったこと、実に残念に思いました。

今年の市長選は、自公立 3 党、後援会はハーバーリゾート協会も入っていますが、商工会議所や医師会が中心、それに市民のための横浜市政を進める会、サポートアクション、私たち市民の会の一部が応援することで、山中氏は結果的には 66 万票、52%の得票率で圧勝し、他の候補を退けました。私たちは、今後も、自民党市政の復活を許さず、山中市長に市民要求の実現を迫っていきたいと思います。

私たちにとって大切なのは、2027 年 4 月の市議会議員選挙です。党利党略の自民党ではなく、市民要求を実現する政党の議員を増やすために、頑張りたいと思います。それは、山中市長に私たちの要求を実現させるためにも大切なことです。前回のような勢いは維新にはありません。参政党や国民民主党が議

席を増やす可能性はありますが、市民要求には背を向けています。

市民のための横浜市政を進める会は、山中市政を支える超党派の貴重な会で、私もこの会の代表として参加しており、年に何度か山中市長との会食をしています。昨年4月の会食で私がノースドックの危険性を訴えたら、市長は6月に防衛省に行って当時の三宅伸吾防衛政務官に基地の返還を要望しに行きました。三宅氏は今年の参院選で落選しました。今年、11月11日にノースドック米軍部隊配備反対連絡会で横浜市の基地対策課に要請したら、11月27日に山中市長は防衛省に行って小泉進次郎防衛大臣に会い、ノースドックなど市内の米軍基地の早期基地返還を求めました。まさに打てば響くような思いを私はしています。パネル展「横浜市と米軍基地」も昨年、市庁舎と中央図書館、今年は南区、戸塚区、泉区、磯子区で開催し、来年も他の区で開催するとのこと。磯子図書館で12月16日から25日まで展示しますので、まだの方は是非ご覧ください。市の基地対策課には今後の展示では連絡会もぜひ協力したいと要請しました。

今日は、しっかり市長選を総括し、2027年4月の市議選、2029年の市長選に向けて、これまでの活動を総括し、今後、市民の会はどう活動してゆくのかしっかり議論し、活動方針を決めたいと思います。活発な議論をお願いします。

## 衆議院議員・早稲田ゆきさんと4区市民連合との意見交換会の報告

後藤仁敏

2025年12月21日、鎌倉生涯学習センターで、衆議院議員・早稲田ゆきさんと神奈川4区市民連合との意見交換会が開かれ、23名の方が参加しました。

会は小堀論事務局長の司会で進められ。はじめに共同代表の私が以下のような主催者挨拶をしました。

皆さま、本日は足元の悪いなか、意見交換会にご参加くださり、まことにありがとうございます。早稲田ゆきさんと4区市民連合との意見交換会は2022年1月から始まり、5回目になります。今回は、



図1 国政報告する早稲田ゆきさん

立憲民主党内での安保法制をめぐる方針転換の動きを受けて、早稲田さん側から私どもの意見をもとめたいとの要請に基づくものです。

小堀さんから資料が配布されていますが、東京新聞などの報道では、公明党や国民民主党との共闘を実現するための動きとされています。私たちは、政党が違えば掲げる政策が違うのは当たり前で、その上でお互いの主張を尊重しながら一地点を見つけて共闘するというのが、共闘の原則だと思います。

思えば2107年9月、総選挙を前に市民連合が努力して共通政策で合意して野党の共闘が構築されようとしていた直前に、民進党の前原代表と小池百合子都知事が、民進党を解散して希望の党を立ち上げ、安保法制反対の人は「さらさらない」と排除した時、立ちあがったが枝野氏の立憲民主党で、早稲田さんも阿部知子さんらと参加したのです。国民民主党は希望の党でしたので、安保法制賛成が党是ですし、公明党は安部自民党といっしょに安保法制を強行採決したのですから、当然、賛成です。それといっしょに共闘するから立憲民主党まで安保法制賛成とするというのは、とても理解できません。

いっしょに共闘するなら、それぞれの政策を尊重して、安保法制の賛否は横において、国民が求めている裏金問題の解明、企業団体献金の規制・禁止、選択的夫婦別姓の実現、消費税の減税など一致点を探って、そこで共闘すべきではないでしょうか。

安保法制については、私ども、2016年から全国22の裁判所で25の違憲訴訟を全部で7699名の原告

で提訴してきました。かながわでも、422名の原告が横浜地裁、東京高裁、最高裁へと訴訟を進めてきました。結果的には残念ながら敗訴でしたが、内閣法制局元長官の宮崎礼壹さんは「集団的自衛権の行使を容認した部分は「明らかに違憲である」と証言しました。憲法学者の学習院大学教授の青井未帆さんも「9条という観点からすると一見明白に違憲と言わざるを得ない」と証言しました。横浜地裁では敗訴とはいえ、安保法制には多くの課題があり、それを解決しないで行使することは問題だとほとんど勝訴に近い判決が出ました。

東京高裁でも、東京大学の石川健治教授が90分の証言で、2014年5月の閣議決定は憲法を変えないで国の体制を変えたクーデターだと陳述し、その後30分にわたって裁判長と質疑応答しました。私たちは素晴らしい判決が出ると期待しましたが、裁判長ともう一人の女性の裁判官は判決にはかかわらず、一人の裁判官だけの名で不当な判決がくだされました。

私たちの裁判の歩みの資料をさしあげますので、是非、お読みください。立民党の小西洋之参院議員の「絶対の違憲である」との発言の記録もあります。今回の「台湾有事は存立危機事態」という高市発言は、政府が存立危機事態と認識すれば集団的自衛権を発動して自衛隊に武力出動が命じられる訳で、その点でも安保法制は戦争の放棄、交戦権の否認を定めた憲法9条違反であることは明らかです。

なお、市民連合は11月29日の全国意見交換会で、10年間の活動を総括し、よりボトムアップ型の新しい体制をつくり、民主主義、立憲政治、平和主義を守り、ファシズムに対抗するための市民連帯を再構築すること。安保法制反対から始まる国家主義や戦争準備への反対するために、新たな対抗軸として憲法に基づく政治など4項目の提起などを決めました。4区市民連合もそれに応じてさらに運動を進めて行きたいと思います。

今日は、早稲田さんからの国政報告に続き、皆さんからのご意見をいただき、質疑応答を進めたいと思います。どうか活発なご議論をお願いします。

続いて、早稲田さんから次のような国政報告がありました。「国会では厚生労働委員会理事として活動している。物価高が続くなか、現政権の経済対策では国民生活を守れません。補正予算審議で提案した医療・介護・障碍福祉従事者の処遇改善など生活支援1.4兆円、無駄な基金1兆円原、赤字国債4.1兆円減、食料品消費税ゼロは通らなかった。私が提出した「高次脳機能障害者支援法は、全会一致で成立した。高市自衛政権は、企業団体献金規制には取り組まず、中小政党の議席を奪う定数削減を進めようとしている。維新は大阪副首都構想を狙っており、国民の方を見ようとしない。「存立危機事態」との高市発言は官僚の用意した答弁書ではなく、これまでとは違う踏み込んだ発言になった。なのに、質問した岡田が悪いという人がいる。「安保法制に違憲部分はない」との枝野発言については、党内での議論はない。枝野・野田・安住氏らが水面下で動いていると報道されている。党を割ることは避けた。来年の通常国会でも頑張りたい。いつ選挙があるか分からない。市議になってから20年、2月14日に在職20周年の春の集いを開くので、是非参加していただきたい。今日は皆さんの意見を伺いたい」。

その後、多くの参加者からさまざまな質問・意見が次々に出された。軍拡路線に反対すべきだ。軍拡反対を崩さないでほしい。ミサイル配備など軍拡に反対してほしい。野党第1党として、高市を降ろすために野党の連携を進めてほしい。安保賛成なら党から分かれても仕方ないかも。早稲田さんを3回の選挙で応援した。ホームページを見て、頑張っていることは知っている。野田代表は公明党とやっているとやっているが、共産党とはどうなのだ。枝野氏が「野党京都の時代は終わった」と言ったのは許せない。中道右派になるのではなく、中道リベラルの旗を掲げてほしい。野田氏は最悪の代表だ。野田・安住氏らを変えて、辻元氏を代表にしてほしい。社会主義者がニューヨーク市長になった。日本でも左にスタンスを変えるべきだ。安保法制賛成なら自宅に貼っているポスターを外したい。定数を1割削減したら、国民の代表がいなくなるので、減らさないでほしい。枝野発言を聞いて、がけから突き落とさ

れたような気がした。これから党内で議論するそうだが、国民・市民の目線で議論して、安保健法は違憲なので、廃止してほしい。政党には政党の役割、市民には市民の役割がある。市民が2015年の安保健法反対の運動を継続できていれば、枝野発言は許さなかった。

最後に早稲田さんは、これらの意見に対し、「いろいろな立場で出来ることがあります。ともに頑張りましょう」と答えました。多くの市民が自由に発言して意見交換でき、たいへん意義深い意見交換会になりました。今後も、このような意見交換会を続けて開いて行きたいと思っています。

## クマは秋田にクマなくいる

藤沢市（秋田県大仙市に単身赴任中） 石原 元

ここ数年の秋田県の話はツキノワグマの目撃、襲撃被害、死者数の増加である。2023年は襲撃被害者70人（死亡0人）、2024年は同じく11人（0人）、2025年は67人（4人）であった。2025年のクマ目撃数は約12,000であり、死者数が4人なのでハインリッヒの法則（1件の重大事故の背景に29件の軽傷事故、さらに300件のヒヤリハット（事故寸前の出来事）が存在するという労働災害に関する経験則）とは合致せず、目撃数に比較して死者数は少ない。同一個体がカウントされているから当然なのかも知れない。しかし、死亡でなくても襲撃被害者の肉体的・精神的後遺症はさながら戦争の被害のようである（中永土師明著「クマ外傷」、新興医学出版、2025年）。



図1 スーパーにクマの新聞報道（秋田さきがけ、2025年11月17日）

熊（クマ）は2025年の今年の漢字であったが、「能」に「烈火」という部首が下に付くほど頭が良く、寿命も20年以上ある。日本の野生動物では最強である。私のいる大仙市でも6月以来毎日のようにクマの目撃情報があり、秋田県能代市ではスーパーにも出現した（図1）。

それでクマの被害対策は表1のようにまとめられる。まずは情報拡散であり、目撃情報はアメダスならぬクマダスによって時々刻々公開されている。被害状況も県のHPに逐次まとめられている。これら情

表1 クマ対策

	短期的		長期的
	事前対策	出現時	永続対策
個人ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>クマ鈴、ラジオ音を出す</li> <li>一人で行動しない</li> <li>夜間は外に出ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かに後ずさりする</li> <li>爆竹、クマスプレーの使用</li> <li>うずくまり、首の周囲をガードする</li> <li>最後はナイフで戦う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ゴミは放置しない</li> <li>果実は早めに収穫するか、伐採する</li> </ul>
行政ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>出現情報の拡散クマダス</li> <li>クマ被害の提供</li> <li>自動ドアをやめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱ワナの設置</li> <li>麻酔の吹き矢の使用</li> <li>委託ハンターによる緊急獣猟</li> <li>警官によるライフル射撃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個体数の管理</li> <li>人里と山をバッファゾーンで仕切る</li> </ul>



図2 クマ鈴



図3 クマスプレー



図4 箱罠に入ったクマ

報により人はクマのいる場所には近づかないようにする。

次に防御対策は個人別と行政別に分けられる。個人はクマに遭遇しないように、クマ鈴（図2）や大きな音を発するラジオなどを携帯する。一人で行動しない事も基本である。遭遇してしまった時は、後ろを向いて逃げるのはご法度である。クマを見ながら後ずさりし、安全な物体の後ろに身を隠す。もし携帯していればそこからクマを撃退するクマスプレー（図3）などを発射する。それでも襲われてしまった場合には、うずくまり、急所である首の周りと頭を両腕で防御する。しかし、最後はナイフなどで戦うしかないだろう。ヒグマに比較すれば、ツキノワグマは助かる可能性が高い。

行政の対応は現在かなり進んで来た。市街地のクマは箱罠をしかけて捕えられ（図4）、銃で駆除される。市街地を動き回るクマは地方自治体の長の判断で緊急獣猟という名目で委託された狩猟の専門家によって駆除される。更にこれが進んで警官がライフルで警察組織の判断で駆除可能となった。秋田県では自衛隊の支援をあおぎ、箱罠の設置や監視の協力を得た。鈴木健太県知事は元自衛官である。

以上はクマ出現時の対処方法であるが、長期的にはより妥当な予防措置が必要な段階になって来ている。現在、かつて絶滅危惧種とされていたクマの個体数は増え過ぎている。個体数の管理が急務である。横浜国立大学名誉教授の松田裕之氏も北海道のヒグマが既に個体数を管理する段階に入ったことを述べている（松田，2019，論座2019年8月2日号）。この中で松田氏はクマの個体数管理と、問題個体、非問題個体の仕分けを提言している。市街地まで出てくるアーバンベアはもってのほかの危険個体であり、クマは何としても山もしくは人里との緩衝地帯（バッファゾーン）である里山に封じ込めなくてはならない。個体数を管理した上で、ヒトとのすみ分けを目指さなくてはならない。互いに恐れ合う関係にしなくてはならない。

最後に、恐れ合うとはクマをモンスターにすることではない。図5に「クマ危険」の看板を示すが、これは行き過ぎである。J. M. G. ル・クレジオが処女作「調書」の中で諷めている（小説の中ではキヌザル）。クマは意地悪くも凶悪でもない、クマはクマという生命を生きているのです。

付記：松田氏の主張はPopulation Ecologyにも投稿されている。

Matsuda, M., Maki, A., Mano, T., Tsuruga, H., Hino, T., and Horino, S. 2025. An adaptive management model for brown bears in Hokkaido: Based on total population and the number of nuisance bears. Population Ecology, <https://doi.org/10.1002/1438-390x.70004>



図5 クマ危険の看板

## 行事案内

- ☆1月15日(木) 18:15~19:30 (予定) **横浜市中期計画(素案)学習会** 会場:横浜市健康福祉センター9階901・902会議室(桜木町駅徒歩3分) 講師:横浜市政策経営局経営戦略課 参加資料代500円 主催:市民のための横浜市政を進める会 問合せ:事務局・政村修 (masamura(at)siju.or.jp)
- ☆1月16日(金)18:30~21:30 **「10月7日からのガザ」(改訂増補版)2026年1月オンライン上映会** 要予約 下記のフォームから申し込みください。https://pilot.jca.apc.org/nextcloud/index.php/apps/forms/s/w9HBN2em7Ri6EmPyydd6GPR 参加費無料(カンパ歓迎) 予約された方には、上映会当日の18時ごろに、オンライン会議室のアクセス情報(アクセスURLとパスワード)をメールでお知らせします。トークイベント:一人から今すぐにでもできる戦争犯罪企業のボイコット 上映終了後の20時15分頃から下記のトークイベントを開催します。主催:JCA-NET<https://www.jca.apc.org/> 問合せ先:としまる(JCA-NET) toshi@jca.apc.org、070-5553-5495
- ☆1月17日(土) 9:30~11:45 **かながわ市民連絡会全体会** 会場:桜木町びおシティ第2研修室(桜木町駅徒歩3分) 担当:司会2区、書記8区 各区の報告、その他 問合せ:080-3402-3360 (内藤繁)
- ☆1月17日(土) 10:00~12:00 **憲法学者とカルタ大会~親子に伝える主権者教育** 会場:海老名市文化会館2階和室 講師:清水雅彦(日本体育大学教授) あすわか(明日の自由を守る若手弁護士の会)が作った「憲法かるた」を使用します 資料代等500円 主催:チーム海老名 共催:チーム横浜 問合せ:090-6166-8711 (代表:あべ)
- ☆1月17日(土)13:30~ **桜木町宣伝 憲法改悪反対!** どなたでも参加できます。オリジナルの宣伝グッズをお持ちください。配布用グッズもあります。場所:桜木町駅南改札東口 主催:神奈川憲法共同センター 連絡先:神奈川労連(045-212-5855)
- ☆1月17日(土) 13:30~15:50 **学習会:みんなで知りたい!相模湖のこと!神奈川の朝鮮人強制労働を考える相模発電工事など** 会場:杜のホールはしもと8階セミナールーム2(JR橋本駅徒歩2分) お話:竹内康人(歴史研究者) 資料代500円 主催:鶴の会 要予約 kasasagi.sagamiko(at)gmail.com
- ☆1月17日(土) 14:00~16:30 **ノーベル平和賞から私たちが紡ぐもの 和田征子さんを迎えて** 会場:ヨコスカ・ベイサイド・ポケット(京急汐入駅徒歩2分、横須賀芸術劇場と同じ4階) 前売り1000円(当日1200円) 学生・障害者無料 朗読「ひろしまのピカ」なぎさ会(横須賀被爆者団体協議会)からのメッセージ 群読「日本国憲法前文」和田征子さん(日本被爆者団体協議会事務局次長)の講演 高校生平和大使 主催:和田征子さん講演会実行委員会 問合せ:090-1439-7813 (三澤)
- ☆1月17日(土) 14:00~16:30 **マイナンバー制度10年を問う集会 @ 東京・文京区** 会場:文京区民センター3階3-A会議室(都営地下鉄大江戸線・三田線春日駅A2出口すぐ) 参加費500円 どなたでも参加できます。プログラム:マイナンバー制度10年を振り返る 原田富弘さん(共通番号いらないネット)、マイナ保険証と医療DX 吉田章さん(東京保険医協会)、マイナンバー違憲訴訟とマイナンバー制度 水永誠二さん(マイナンバー違憲訴訟・東京弁護士会)、監視社会とマイナンバー制度 としまるさん(JCA-NET)、各地域や関連する運動からの報告 静岡、浜松、大阪他、提起「今後の運動の方向性について」 これからの運動の進め方について自由討論 主催:共通番号いらないネット 連絡先:080-5052-0270 (担当:宮崎)
- ☆1月18日(日) 14:00~17:00 **県内産業の現状と課題について考える研究会** 会場:横浜市開港記念会館2階6号室(みなとみらい線日本大通り駅徒歩1分) 視察報告:大山奈々子(日本共産党県議)「熊本TSMCをめぐる諸問題」 講演:藤田実(桜美林大学名誉教授)「日本半導体産業の現状と課題」 主催:日本共産党県議団 問合せ:045-210-7882
- ☆1月18日(日) 14:00~ **川崎区・幸区革新懇春の講演会** 会場:カルッツかわさき大会議室(JR川崎駅徒歩15分) 講演:山田朗(明治大学教授)「いまこそ考えたい歴史認識」 主催:川崎市革新懇、幸区革新懇 問合せ:090-7183-6686 (阿久津)
- ☆1月19日(月) 18:30~ **戦争反対! 憲法守れ! 核も原発もいらない! 1・19国会議員会館前行動** 場所:衆議院第2議員会館前を中心に(国会図書館前のスピーカー配置は、ありません) 共催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会 / 9条改憲NO!全国市民アクション
- ☆1月22日(木) 18:00~ **憲法9条改憲NO!ウィメンズアクション** 場所:JR有楽町駅イトシア前 主催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会 性差別撤廃Project Team
- ☆1月22日(木) 18:30~ **学習会:誰もが安心して住み続けられるまちづくり** 会場:川崎市総合自治会館大会議室(JR武蔵小杉駅徒歩5分) 講師:中島明子(和洋女子大学名誉教授) 参加費無料 主催:日本共産党川崎市議団 問合せ:044-200-3360
- ☆1月24日(土) 14:00~ **新春行事「高麗博物館見学と韓国料理を」** 14時にJR新大久保駅改札集合 参加費5000円(入館料、食事代含む) 主催:日本コリア協会神奈川支部 問合せ・申込み:045-581-3697
- ☆1月24日(土) 18:30~ **緑フォーラム講演会:中国人強制労働と万人坑** 会場:銀河実験劇場(東京都北区) 講演:青木茂(平和を考え行動する会会員)「中国人強制連行・強制労働と万人坑(人捨て場)」 参加費1000円 主催:緑フォーラム 連絡先:緑フォーラム事務局 渡辺千鶴(090-2201-9788)
- ☆1月25日(日) 11:00~12:00 **4区市民連合・オール栄区スタンディング** 場所:大船駅空間口 連絡先:小堀さん(080-5035-7168)、竹岡さん(k-take(at)mxj.mesh.ne.jp)
- ☆1月25日(日) 13:30~ **新春特別企画 中国見たまま聞いたまま 10年にわたり激動の中国取材した「しんぶん赤旗」北京特派員小林拓也さんが縦横に語る** 会場:戸塚地区センターA会議室(戸塚駅西口徒歩3分) 資料代500円(会員400円) 主催:日中友好協会神奈川県連合会、同横浜西南支部 問合せ:080-2981-3935 (大幡さん)
- ☆1月26日(月) 18:00~21:00 **たんぼ舎セミナー室講座番号900 新ちよぼゼミシリーズ「オルタナティブな日本を目指して」再開第18回「台湾有事」に突き進む日米同盟** 講師:石井暁さん(共同通信社編集委員、防衛省担当、立命館大学客員教授) 著書:自衛隊の闇組織—秘密情報部隊「別班」の正体(2023 講談社現代新書) 会場:たんぼ舎(Tkiビル3階、JR水道橋駅西口徒歩4分) 参加費(資料代含む):900円(学生500円) 要予約 申込み・問合せ:03-3238-9035
- ☆1月31日(土) 13:00~16:30 **1.31 東京教育集会2026 憲法を守り生かし平和と民主主義子どもの権利を保障する教育を** 会場:エデュカス東京7階会議室(東京メトロ有楽町線麹町駅徒歩5分) リレートーク 講演:久保田貢さん(愛知県立大学教授)「学習指導要領の改訂で子どもたちと学校は? 私たちにできることは?」 会場からの発言 集会アピール採択など 集会賛同金 個人1口500円 団体1口2000円 郵便振替口座:00110-2-444678 加入者名:東京教育集会実行委員会 参加申込み:名前(フリガナ)、参加形態(現地参加・オンライン参加)、電話番号を Fax.03-3611-2075 または E-mail, keikei01020721(at)gmail.com に 主催:実行委員会
- ☆1月31日(土) 13:30~ **ヨコスカをよくする会総会シンポジウム:不登校問題解決策としての小規模特認校の可能性** 会場:産業交流プラザ交流サロン 島田徳隆さん(NPO法人アンガージュマン理事長)、山下香さん(汐留町内会長)、ほか 主催:ヨコスカをよくする会(046-827-2713)
- ☆1月31日(土)13:30~ **新春学習会「安保法制10年と憲法9条」** 会場:寒川町民センター1階視聴覚室(JR寒川駅徒歩10

- 分) 講師:石黒康仁(弁護士) 主催:9条の会さむかわ 問合せ:0467-28-2320(小笠原さん)
- ☆1月31日(土)18:30~ **九条の会事務局講演会「高市政権の改憲策動に抗して」** 会場:文京区民センター3-A 会議室(丸の内線後楽園駅4bまたは5番出口徒歩6分/南北線後楽園駅5番出口徒歩6分、都営三田線・大江戸線春日駅A2出口徒歩2分) 報告1:渡辺 治(一橋大学名誉教授)「高市政権とは何か―そのねらい・危険性と弱点」、報告2:小澤隆一(東京慈恵会医科大学名誉教授)「高市政権の危険な憲法政策」、閉会あいさつと呼びかけ 参加費:一般1000円、学生・障がい者500円 事前申し込みは不要ですが、会場整理のため、あらかじめ下記まで参加希望者と人数をご連絡いただければ幸いです。問合せ:九条の会事務局(千代田区西神田2-5-7-303、TEL03-3221-5075、FAX03-3221-5076、Eメール sppn3av9(at)hyper.ocn.ne.jp)
- ☆2月1日(日)13:30~16:30 **2026年憲法が開く年に 戦争はダメ、平和な我々の時代を2026年新春平和学校** 会場:かながわ県民センター2階ホール(横浜駅西口徒歩5分) 資料代1000円(学生・障害者500円) 講師:五十嵐 仁さん(法政大学名誉教授) 特別報告:山本大貴さん(気候アクティビスト、record1.5代表)「若者気候訴訟原告が伝える気候変動の現状」 主催:神奈川県平和委員会、原水爆禁止神奈川県協議会 問合せ:045-231-0103(県平和委員会)
- ☆2月6日(金)11:00~15:30 **第18回輝け!高齢期かながわのつどい in 藤沢 戦後80年守ろう!平和ともう零社の人権** 会場:藤沢市民会館(藤沢駅南口徒歩15分) 資料代500円 記念講演:暉峻淑子さん(埼玉大学名誉教授)「高齢者の人権はどうなる?」 文化企画 介護学習企画 問合せ・申込み:045-663-4061(実行委員会・伍)
- ☆2月7日(土)10:00~12:00 **第71回神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会合同行事:国立科学博物館特別展「大絶滅展―生命史のビッグファイブ」の見学** 集合:国立科学博物館入口前に10時に集合(JR上野駅公園口徒歩5分) 案内:後藤仁敏(古生物学者) 持ち物:筆記用具など 当日券:大人・大学生2300円、小・中・高校生600円 主催:地学団体研究会神奈川支部と神奈川野尻湖友の会 資料を用意しますので、できるだけ事前申込み願います 申込み・問合せ:電話090-7175-1911 E-mail: goto@kd5.so-net.ne.jp 後藤仁敏
- ☆2月7日(土)14:00~15:30 **『日本の科学者』1月号読者会** zoom 宮本憲一さんが参加 詳細:https://jsa.gr.jp/d/jjs/onlinereadersmeeting 申込み:mail(at)jsa.gr.jp
- ☆2月11日(水・休)12:45~16:30 **「建国記念の日」に反対する2.11神奈川県民のつどい 精神・思想の支配を意図する「建国記念の日」―その制定に奔走した瀧澤彌三の軌跡を中心に** 講師:瀧澤 厚さん(山口大学名誉教授・歴史政治学) DV上映 基調報告 フロア発言 集会アピール 会場:かながわ県民センター2階ホール(横浜駅西口徒歩5分) 資料代500円(高校生以下無料) 主催:2.11神奈川県民のつどい実行委員会 連絡先:045-212-5855(神奈川労連 担当・住谷)
- ☆2月11日(水・休)13:20~ **憲法80年 軍拡・改憲を許さず平和な世界と日本へ「建国記念の日」反対2026年2.11集会** 講演:小澤隆一さん(東京慈恵会医科大学名誉教授):「やさしい」日本国憲法のはなし、早尾貴紀さん(東京経済大学):ガザの問題を考える(仮) リレートーク:日本学術介護法人化問題と学問の自由、強まる外国人排斥の動き、明治の日、昭和100年記念式典問題 会場:林野会館(丸の内線茗荷谷駅徒歩7分)、オンライン併用 オンライン参加の申込み:jimukyoku3@kenpoukaigi.gr.jpに、2.11参加として住所氏名を明記して申し込むこと。参加費700円(25歳以下、障害者300円、高校生以下無料) 参加費は、郵便振替口座:00160-8-66110 憲法会議に「2.11参加費」と明記して振り込んでください。主催:「建国記念の日」に反対し思想・信教の自由を守る連絡会 事務局団体:歴史教育者協議会(03-3947-5701)など
- ☆2月13日(金)12:30~13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所:JR桜木町駅東口広場 呼びかけ:横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会(045-231-0103)
- ☆2月14日(土)13:00~15:30 **川崎の市民共同発電所づくりについて(仮題)** 会場:横須賀産業交流プラザ第1研修室 参加費無料 お話:永田真一さん(NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所技術担当) 質疑応答と懇談 横須賀の取り組みについて 主催:エネルギー問題を考える横須賀の会 問合せ:鈴木陸郎(046-847-3253)
- ☆2月14日(土)14:00~16:00 **衆議院議員早稲田ゆき議員在職20周年記念2026春のつどい** 会場:鎌倉パークホテルB1(江ノ電長谷駅徒歩12分) 会費8000円(ご飲食代込み、15才以下のお子様・介助者無料) 応援弁士:泉房徳参議院議員 主催:早稲田ゆき事務所 申込み:0467-24-0573、mail:info(at)waseda-yuki.jp
- ☆2月22日(日)13:30~ **ダニー・ネフセタイさん講演会「なぜ・戦争を止められないの?」** 会場:アミューあつぎ7Fミュージックルーム1 参加費500円、学生以下無料 連絡先:080-1172-1094(山本) 主催:CNピースあつぎ
- ☆2月22日(日)13:30~17:00 **日本科学者会議(JSA)創立60周年記念シンポジウム:避戦と人間の安全保障―戦争を回避するための方策を問う** 会場:中央大学茗荷谷キャンパス(丸の内線茗荷谷駅徒歩1分)+オンライン 参加費無料 基調講演:1. 山極寿一(総合地球環境学研究所長、前京都大学総長)「暴力の由来とその解決策について」、2. 加藤陽子(東京大学教授)「近代日本の歩みの中に戦争を位置づける」、3. 志田陽子(武蔵野美術大学教授)「『安全保障』の氾濫と人間の生存保障―日本の地経学的課題と平和的生存」 パネルディスカッション(フロアからの質問や意見をいただき内容を深めます) 参加費:無料 参加申し込み:対面でご参加の方は申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。オンラインでご参加の方、時期が近づきましたらhttps://jsa.gr.jp/d/jsa60にて申込みを受付ます。
- ☆2月22日(日)18:00~20:00 **JSA60周年記念祝賀会2026年** 会場:茗溪会館4階新泉・筑波(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅出口2 徒歩1分) 参加費1万円 定員:70名 参加申込みは12月半ば受付開始 JSA創立60周年を記念して、記念シンポジウム終了後にささやかながら祝賀会を開催します。会場の都合上、定員70名とさせていただきます。参加申込みはhttps://jsa.gr.jp/d/jsa60にて12月20日から受付開始します。先着順とさせていただきます。

**JSA 神奈川支部幹事会・発送作業** 2026年2月の支部幹事会と発送作業は以下のとおりです。

日時:2026年2月17日(火)14時30分~16時、発送作業は14時30分、幹事会は15時から。

会場:かながわ総研事務所(横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階、1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの5階、JR関内駅西口徒歩3分)。

連絡先:飯岡ひろし(携帯:080-1987-0994、E-mail:jsa.kanagawa(at)gmail.com)

**次号の原稿の募集:**近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、「日本の科学者」についての意見・感想、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。

送り先:後藤仁敏(E-mail:goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax:045-894-1052)